

〈隷書〉

栖鴉對寂寥

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

栖鴉對寂寥

山本飛雲先生書

□ 栖鴉寂寥せいあせきりょうに対する(宋・張耒)

次号予告「啼鴉井上驚風散 殘雪窓前助月明」

〈行書〉

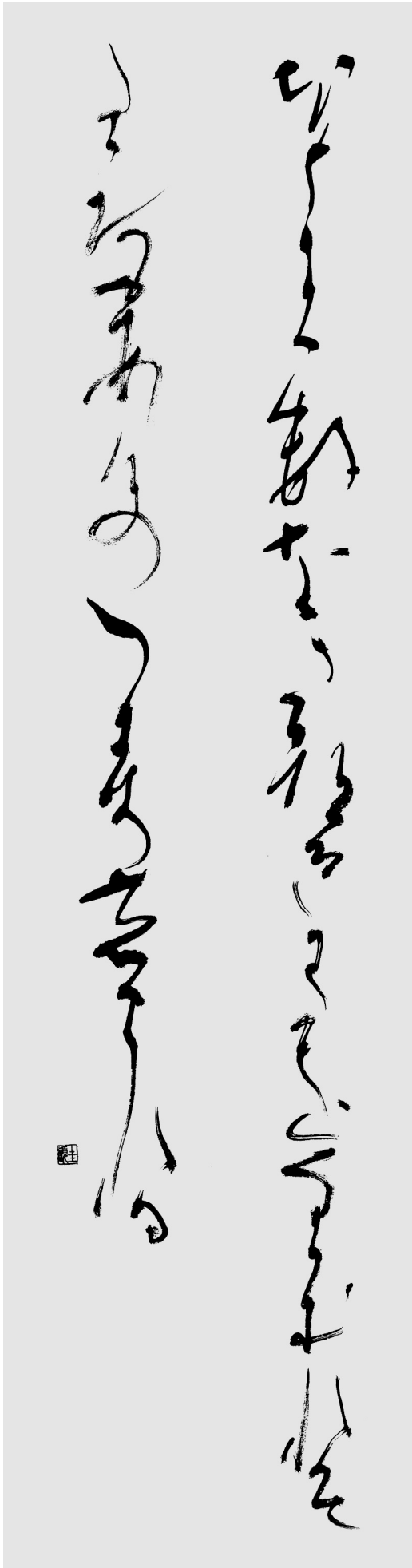


小畠秋聲先生書

▽ねぐらに帰った鴉は、寂しさに耐えている。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 本と、支数 なき都る可多を な可むれ盤 多、阿りあ介の つ支そ農これる
ほととぎす 鳴きつる方を なかむれば たたありあけの 月ぞ残れる

△百人一首八十二▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

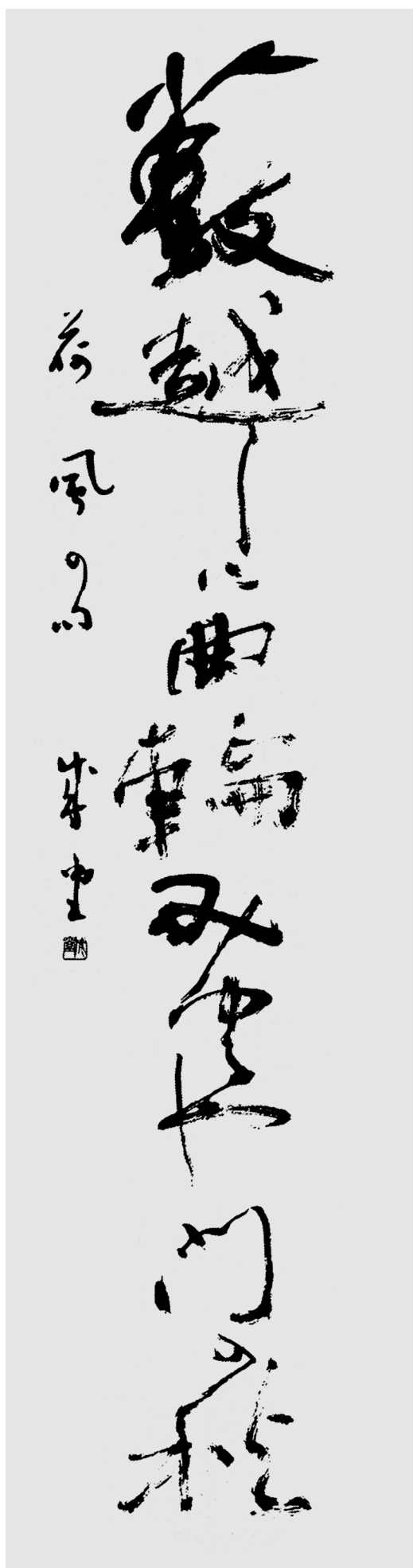


▽伊都内親王願文

莊一處自一町謹充香燈轉讀料以茲

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□永井荷風の句 數越しに 曲輪みゆるや 門の秋

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） —11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 吉田汀史の句 樹の上を 風船の飛ぶ 七五三

七五三、数字を作品に。難しいものですね。可愛い句ですので、挑戦してみましたが。

清 原 大 龍 先 生 書

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） —11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 耳^じ 鑑^{かん} 耳をもつて目とする。

心閑かに目を閉じ、聞こえてくる音から何かを見たいものです。

井之上 南 岳 先生 書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 天は寒くして遠山浄し (唐・王維「齊州送三祖」)
天は寒く、遠くの山々は清らかである。



次号予告「酔語近天眞」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 天は寒くして遠山浄し (唐・王維「齊州送三祖」)
天は寒く、遠くの山々は清らかである。



次号予告「酔語近天眞」

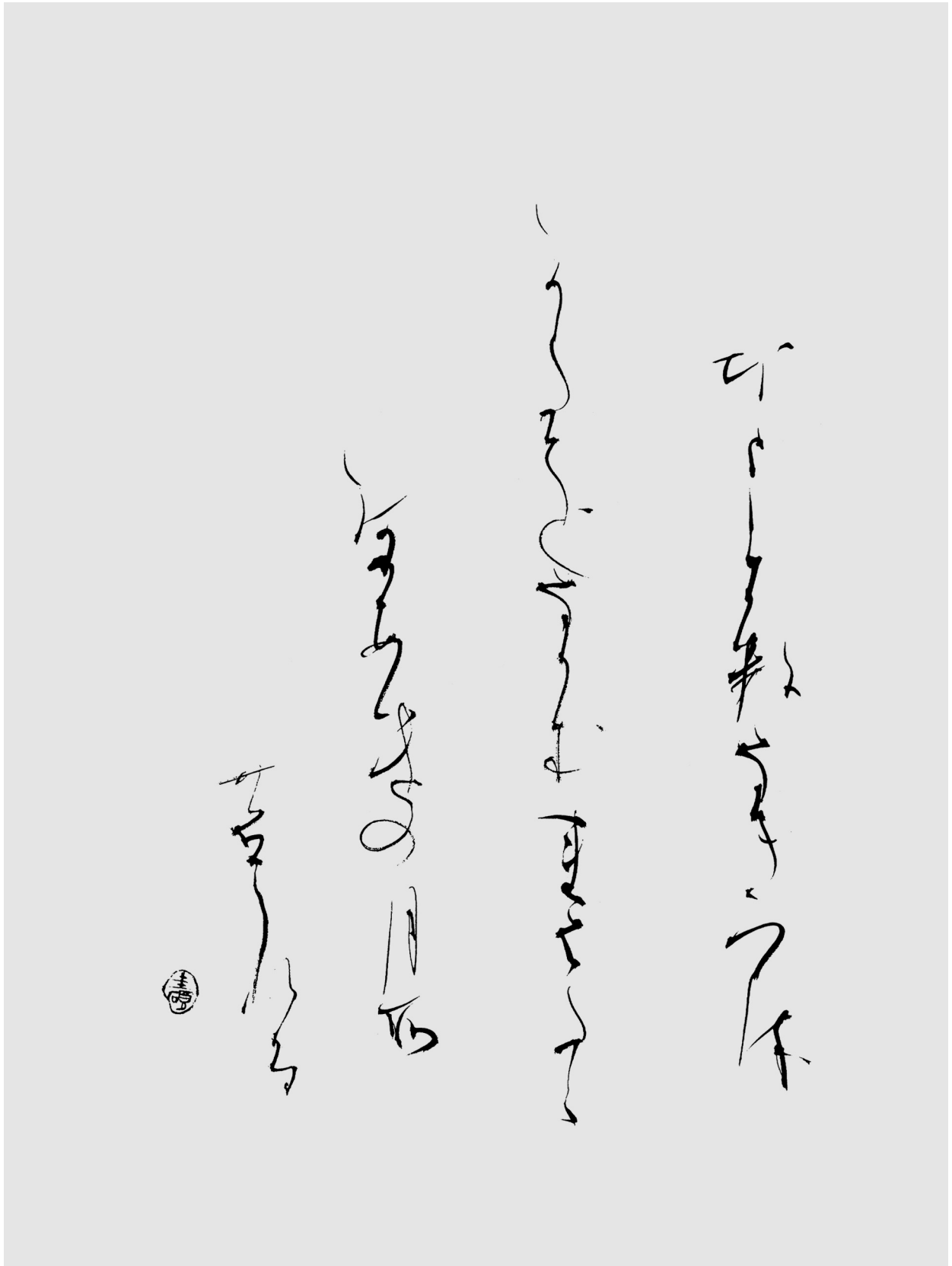
吉田成美先生書

半紙随意参考手本 —11月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

本と、支数
なきつ流可多を
な可む連盤
多、阿りあ遣の
月所農これる



ほととぎす
鳴きつる方を
なかむれば
たたありあけの
月そ残れる

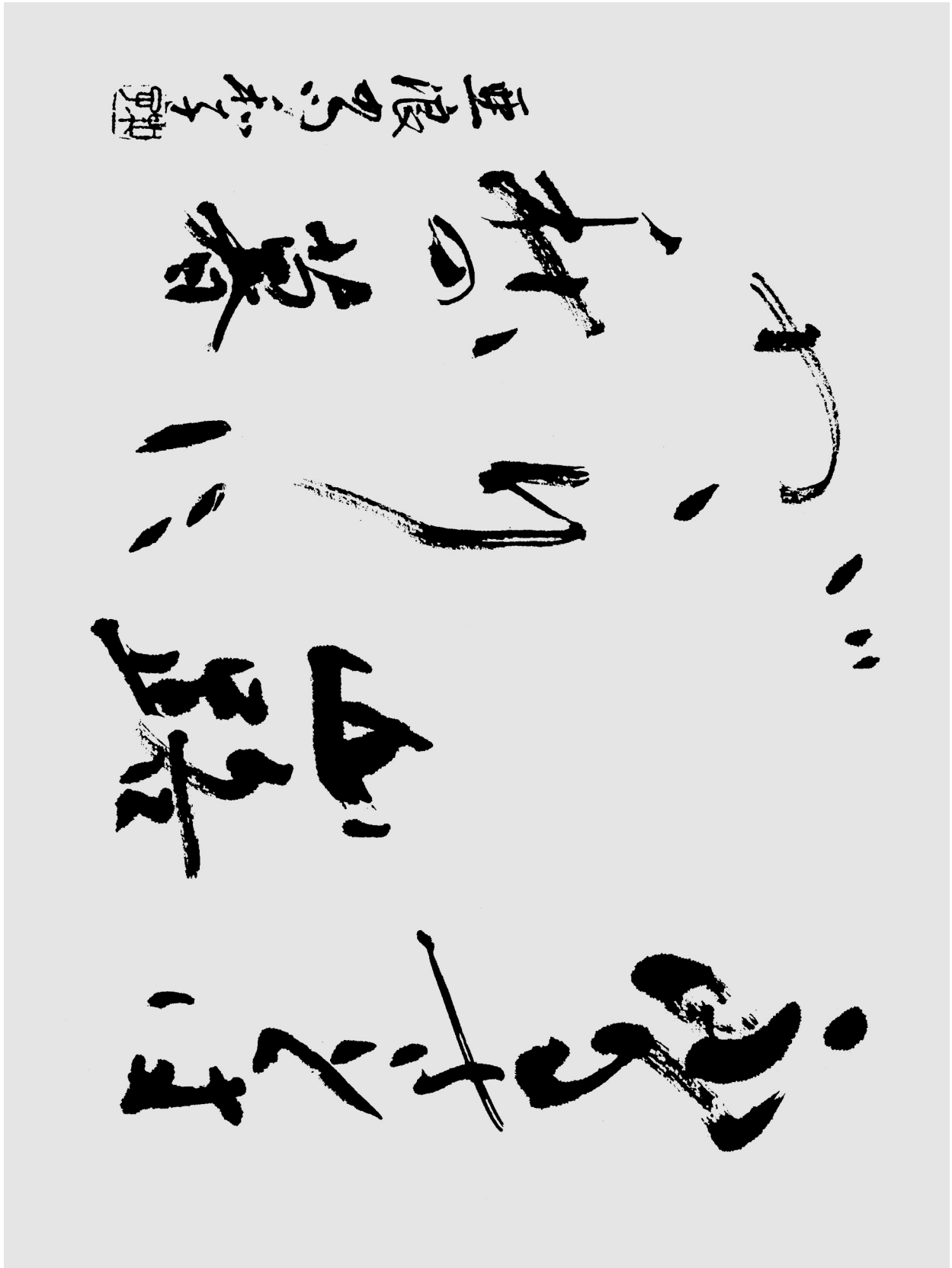
舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 —11月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

白田^{うすだ}亜浪^{あろう}の句
ふるさとは
山路がゝりに
秋の暮

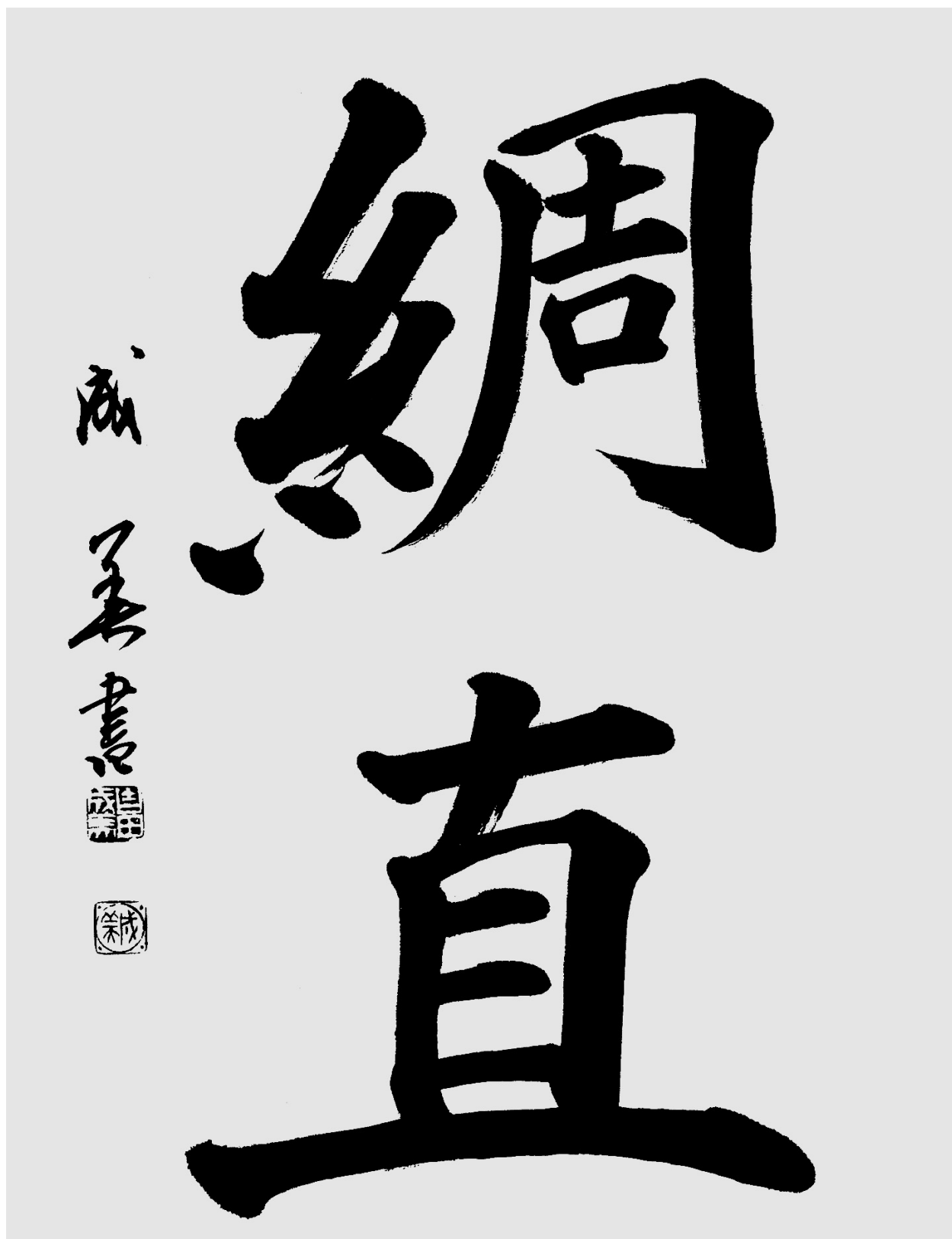


※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

川上和子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 綢 直
性情が緻密で操行のまっすぐなこと。
(「詩経」小雅・都人士)



（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

形にとらわれず、リズム良く、スケール大きく運筆しましょう。



「莊一處畠一町」

渡 邊 大 嶽 先 生 臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

十一月の花
 竜胆 磯菊 パンジー アロエ 鶏頭 山茶花
 藤袴 吾亦紅 柊 石路 孔雀草

姓号

アロエ	竜胆	柊	十一月の花
鶏頭	磯菊	石路	藤袴
山茶花	パンジー	孔雀草	吾亦紅

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

送っていたいたご当地の果物が
とても美味しくて早速コタツでみかん
と、冬の醍醐味を楽しんでいます
お返しに地元産の海産物を送りました
寒くなりますご自愛ください 和子

送っていたいたご当地の果物が とても美味しくて 早速コタツでみかんという 冬の醍醐味を
楽しんでいます お返しに地元産の海産物を送りました 寒くなります ご自愛ください 和子

伊良子 喜代 先生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

書譜

御手紙決まっています。
先日、文化の日に母校の学園祭に顔を出し、妙にあの頃が懐かしく思い出されて昔に戻った気分でした。
街の様子は変わりましたが、昔の我々と同じように、短い季節を懸命に生きる若者を目の当たりにして羨ましくもありました。
年末は久しぶりにゆっくり食事でもどうでしょう。

野のある便箋に書いてみよう。

△26 cm × 18 cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	方言と訛りは、陰影に富んで懐が深い。	くる。共通語では言い換えのきかない	としたもののへの哀惜が歌から滲んで	妙に行き交う。そして標準語がそぎ落	歌にはふるさとの言葉への愛憎が微
段 級					
氏 名					

小 畠 秋 聲 先 生 書



一般の方も是非チャレンジしてください。

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

世界の国

小学4年

日の本

小学3年

ブラジル

小学2年

リオ

ようねん・小学1年

五輪の熱戦

中学2・3年

英雄伝説

中学1年

世紀の祭典

小学6年

勝利する

小学5年

秋永春霞先生書

〈条幅¼ 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17・5cm〉

□ 書き始めは、筆の先をきれいにととのえて、ゆっくり、ていねいに書きましょう。

ジブ
ルラ

小学二年

次号予告「きたかぜ」

□ 「トメ」「ハライ」「ハネ」のちがいにきをつけてのびやかにかきましょう。

リオ

ようねん・小学一年

次号予告「ふゆ」

坂元紫香先生書

□ 文字の字形と大きさに気をつけ、「世」は横長く、「界」は縦長にバランスよく書こう。

世界

小学四年

次号予告「白鳥」

□ 「日」は線に強弱をつけや、小さめに、「本」は中心と左右の「ハライ」を伸びやかに書こう。

日本

小学三年

次号予告「立冬」

吉田成美先生書

小学五年

次号予告「信念」

勝つ

□「勝」は左右の払いを伸び伸びと書き、二文字のバランスをよく見て頑張りましょう。

小学六年

次号予告「風花のまう街」

祭典

□「祭」は中心に気をつけ、払いを伸びやかに。「典」は六画目の横画を長く字形を横長に。

秋永春霞先生書

中学一年

次号予告「将来の夢」

英雄

□各文字の字形や筆順に気をつけ、「バライ」はゆつくりと伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「輝ける未来」(行書)

熱戦

□点画の連続と丸みや方向に気をつけ、リズムに乗った動きのある作品にしよう。

吉田成美先生書

① あいだをあける
② はねる

小字三

ゝ 一 二 三
 ①はねる
 三 二 一

小学一二年

2450

●点の方向に注意

王 王 王 王 王

●右には心う
「●はねる
●まっすぐ下にねるす

氏名	段級	
「二」の少な社会は、自然に向かっていると思えます。		

小学五年

(た)
 上の横画より長し
 一 一 一 一 一

①うは—かくで書く
②はねる

[illegible]

小学四年

光のあみか底の白、岩の上で、	美しくゆーゆーのびたり縮んだ	りしました。あわや、サナギ、みか	ら、サナギ、サナギの棒、サナギ	めに氷の中に並んで立ちました。
段級	氏名			

[illegible][illegible]

乃及 門 田 里 單 異

い ち ば ん 長

シ 門 田 里 單 異

小 畠 秋 聲 先 生 書